



三田源幸 議員

研修事業

海外視察の成果と特産品販路拡大は  
産業活性化対策プロジェクトに生かす

**議員** 本町は「少年ジェット希望の翼」、「北海道介護福祉学校のフィンランドとの研修交流」、「農業青年の海外研修」など青少年を海外へ派遣し、豊かな感性やグローバルな感覚を持つ人を育てている。

海外での体験は言葉の違いや異文化等に触れることで、ひとまわりもふたまわりも大きくさせ、グローバルな感覚を持った人間を育てると思う。帰国後の報告会等の発表を聞くと、その経験してきたことの大きさが伝わり、その喜びが生まれてくる。

① 昨年、町長が視察したフランスの研修内容と成果は、また、今後どの分野で活かされるのか。

② 海外における栗山町の特産品の販路拡大に向

け、現在取り組んでいる成果や今後の予定は。

**町長** ① 目的は「農産物のブランド化及び6次産業化の推進」と「アグリツーリズムの融合による地域振興」。第6次総合計画の産業活性化対策プロジェクトに生かす。

② 中国内モンゴル自治区でのメロン栽培、台湾での特産品販路拡大に取り組んでおり、商品試験輸出、商談会等への参加を計画している。



少年ジェット（オーストラリアへ）



反問!

**町長** 議員も相当の研修に行かれていたと思うがその都度短い期間で成果を出されたか。

**議員** 私も25年ほど前に青年活動をしていたこともあり東南アジア方面に初めて海外研修をした。言葉や文化の違いを経験をすることは大きな成果がある。それを皆さんに伝えたい気持ちがありその翌年の成人式でスライドを使い研修内容を報告した。町長にも伝えたい気持ちがあるのでは。すぐに成果を求めるということではない。吸収してきたものを町民に伝えてほしい。議会報告会でも町長の研修内容を聞きたいという町民の声があった。